

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	27	-	事業名	生涯学習推進事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える			
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市公民館講座において、第二次長久手市生涯学習基本構想に基づき、ながくて市民大学及び長久手主催の講座を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住、在勤、在学の方(ただし、講座によっては市外の方も可)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公民館において講座を開催することにより、市民が集まり交流するきっかけづくりを行う。					
	事業を構成する事務事業	① 公民館講座事業	継続	④			
	② 大学連携講座事業	継続	⑤				
	③ ながくて市民大学事業	改善・見直し	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	-	予算	/	/	/
決算				/	/	/	616
人件費(B)	千円	-	決算	/	/	/	2,979
総コスト(A)+(B)	千円	-	決算	/	/	/	3,595

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	募集定員に対する申込者の割合	%	目標	85	75	80	85
実績				75	79	86	56	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
	【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)							
A	交流のきっかけ作りを目的としているため、申込者の割合を目標とする。 目標根拠:昨年度実績 講座申込者数/募集定員 ①44+②46+③17/①70+②90+③30=56%							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市内に点在する史跡を巡る講座や市内の大学と連携した講座など、地域の資源を生かした講座を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 募集定員に対する申込者の割合が減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 募集定員に対する申込者の割合が減少している。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 公共施設に設置するチラシや回覧の活用等広報の仕方を検討する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	生涯学習推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

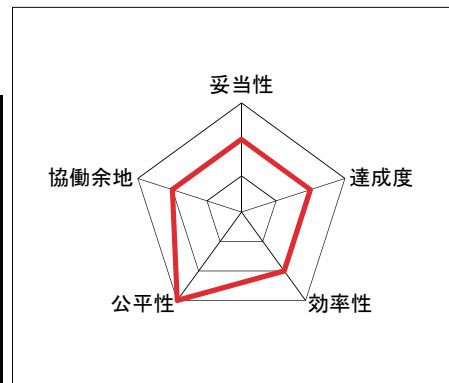
番号	①	事務事業名	公民館講座事業									
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内在住、在勤、在学の18歳以上の方を対象に、各種講座を実施し、参加者同士が交流しながら楽しく学ぶ機会を提供する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	生涯学習への関心を高め、交流する楽しさを知らせてもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				167
		決算				188

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
募集講座数	講座	目標	10	8	9	4	
		実績	10	8	9	4	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市民のより自主的な生涯学習の推進のため、ながくて・学び・アイ講座で開講が可能であると思われる内容の講座は、公民館講座では行わないこととする。

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
募集定員に対する申込者の割合が減少しているため、講座の内容についての見直しと広報の仕方を検討する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	生涯学習推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	大学連携講座事業								
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市と大学が連携することで、大学における専門的な知識を市民に伝えとともに、研究成果を社会へ還元する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大学における専門的な知識を学ぶことで生涯学習への関心を深め、交流を活発化させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				12
		決算				12

3. 活動推移

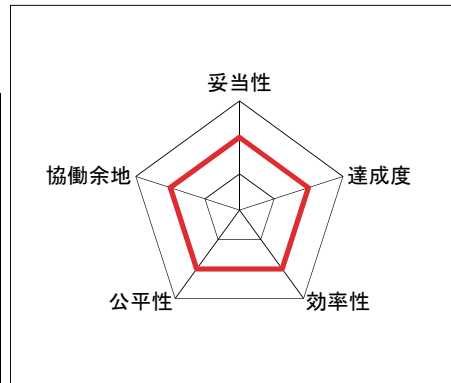
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
講座回数	回	目標	4	4	4	6	
		実績	4	4	4	6	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県立大学 1 件、愛知淑徳大学 2 件連携。 分野は歴史・文学・男女共同。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 歴史や文学に関する分野で連携を依頼する。 また、募集定員に対する申込者の割合が減少しているため、広報の仕方を検討する。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	生涯学習推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

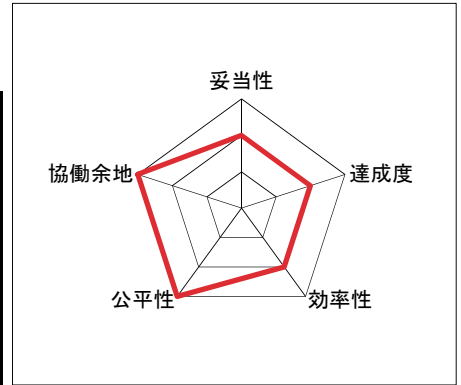
番号	③	事務事業名	ながくて市民大学事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 退職後の世代を対象とし、生涯学習へ導くための具体的な事業として「市民大学」を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者のいきがいと居場所を提供する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				420
		決算				416

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
チラシ配布枚数	枚	目標			900	1,800	
		実績			900	1,800	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

募集定員に対する申込者の割合が減少しているため、広報の仕方を検討する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

平成27年度からエルダー塾専門コースを実施。前年度受講生26人の内12人の継続参加があった。